

地域が取り組む！ 安全・安心なまちづくり

札幌市では、「札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する条例」を平成21年度に施行し、人と人とのつながりを大切にしながら、安全安心なまちづくりを目指しています。

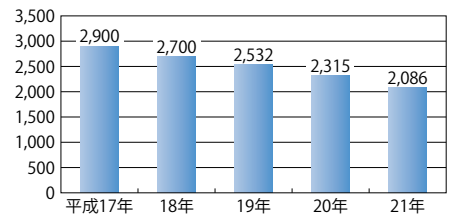
今月は、厚別区内で防犯に取り組んでいる皆さんの活動を紹介します。



厚別区イベント
キャラクター『ピカットくん』

厚別周辺の犯罪発生状況

厚別警察署管内での犯罪の発生は、平成14年をピークに減少傾向にあります。依然として車上荒らしや自転車の盗難などは多発しています。さらに、全国的には子どもや女性が巻き込まれる犯罪も発生しており、札幌市内においても、小・中学生を狙った事案が少なくとも年間500件以上発生しています（札幌市子ども未来局調べ）。



▲厚別警察署管内での刑法犯認知件数
(北広島市での発生も含む)

地域での防犯活動が大切

日常生活の中でも、地域や個人ができるさまざまな防犯活動があります。犯罪被害を少しでも防ぐため、皆様のご家庭や地域の状況に合わせた取り組みを行っていくことが大切です。

学校



児童自らが安全マップづくり～共栄小学校

児童が校区内を実際に歩き、地域の危険箇所や安全箇所を自分たちの目線で確認する「地域安全マップづくり」に取り組んでいます。

マップづくりには地域住民の協力もあり、いざというときに助けを求められる環境づくりや地域の交流にもなっています。



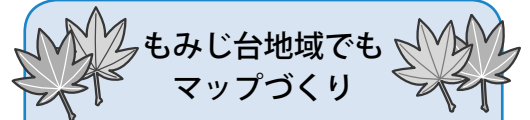
完成した防犯マップの一部



共栄小学校 平岡 弘之校長
ひらおか ひろゆき

マップづくりが子どもたちの防犯意識を高めま

子どもたちが遊び慣れている地域も、安全という目線で見直すことで、「安全の心」を育てることにつながります。また、家族以外の大人とのふれあいも大切な学習になっています。



平成23年度から2校に統合するもみじ台地域の小学校（みずほ、もみじ台、もみじ台西、もみじ台南）でも、10月に合同で防犯マップづくりが行われる予定です。